



生活経済ジャーナリスト
和泉昭子

日本FP協会CFP認定者。新刊に
「自分で作る理想の年金～これで安
心！女性（あなた）のセカンドライ
フ」（法学書院）

OL economic
terms
経済用語事典

「日経平均株価」「TOPIX」とは？

日常生活で、景気回復を実感するシーンが増えているのではないだろうか？ ボーナスが去年よりたくさん出たとか、デパートで大きな買い物袋を提げている人を多く見かけるとか…。

景気の動向を裏打ちするものとして、さまざまな経済指標があるが、とりわけ「株価指数」は、経済の“ナマの動き”を敏感に映すものとして注目されている。ニュースや新聞でおなじみの「日経平均株価」や「TOPIX（東証株価指数）」は、日本の株式市場の動きを示す代表的な指数だ。

日経平均株価は、日本の代表的な企業225社の株価の平均値を数化したもの。「多くの株価が百

円単位なのに、平均株価が1万円前後なのはなぜ？」という疑問がわくが、指数としての連続性を重視するため、株価の合計を225で割るのではなく、除数（分母）を修正して計算しているためだ。日経平均に採用される225銘柄は、原則として毎年見直されることになっている。しかし、実際には古い会社が多く、産業構造の変化を十分に反映していないといった指摘がある。また、値段の高い株の影響を受けやすいというも弱点だ。

一方、TOPIXは、東京証券取引所の一部に上場している全銘柄の時価総額（株価に発行株式数を掛けた合計）が、基準日である

1968年1月4日の時価総額を100として、どれくらい増減したかを示す指数。市場全体の株価水準を見ることができるのが強みだが、時価総額が大きい銀行株などの動きに影響される側面がある。

景気回復をにらんで株式投資を始めたけれど、どの銘柄を買えばいいのか分からないという場合は、こうした指数に連動する「ETF（株価指数連動型上場投資信託）」という金融商品に注目を。シンプルで分かりやすく、手数料も安い。何より、10万円前後で日本経済の動向を実感できるのが魅力といえるだろう。

▶この記事に関する意見・問い合わせ シティ編集部 ☎03(5208)4520